

2011年度 修学院フォーラム
「いのちを考える」
第4回

(財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

これまでの生命倫理・医療倫理の枠を越えて、「いのち」をどのように考えるのか、その根本のところを様々な方のお話を伺いながら考えて行きたいと思えます。

いのちへの問い、いのちからの問い 生命倫理を超えて

講師：安藤 泰至（鳥取大学医学部保健学科准教授）

このシリーズのタイトルにもあるように、私たちは「いのち」という言葉をよく使います。もちろん、「生命」という語と同じような意味で使う場合も多いのですが、それを超えた語感を帯びていることも多く、「限りある生命」に対する「永遠のいのち」といったように生物学的な生命と対比して語られることすらあります。「いのち」というのは、そこらに「いのち」の形をしてころがっているようなものではなく、むしろ私たちがそう呼ぶことによって見いだしている自己や世界についてのある「まなざし」「見方」なのではないでしょうか。私たちが「いのち」を意識し、自覚するのは、現に「生きている」という直接的な事実からではなく、むしろ「死」を意識することによってであるように思われます。人間は「いのちとは何か？」を問うことによってはじめて人間になったのだと言うこともできますし、有史以来こうした「いのちへの問い」を担ってきたのは広い意味での宗教でしょう。今日、新しい医療技術や生命科学の急速な発展は、人間の生や死のかたち自体を揺るがし、私たちに新たな形で「いのちへの問い」を課してきています。「生命倫理（学）」という営みは本来、そうした問いのために生まれてきたものですが、その発展や制度化にともなって、そうした根本的な問いが忘れられつつあるように思えます。当日は現代のいくつかの具体的な生命倫理問題をとりあげながら、それらが私たちに突きつけている「いのちへの問い」について、みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。（安藤 泰至）

日時：2011年12月17日（土）13:30～17:30

場所：関西セミナーハウス

参加費：2,000円、学生500円

会場への地図は裏面をご覧ください。

フォー
ラム
終了後

講師を囲む談話会 18:00～21:00

会費：2,500円(夕食代、お茶代を含む)

〈宿泊のご案内〉
裏面をご覧
ください。

*フォーラム、講師を囲む談話会共、12月14日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。ただし、定員に達し次第締め切ります。



安藤 泰至 ANDO Yasunori

鳥取大学医学部保健学科准教授、専門は宗教学、生命倫理、死生学。京都大学文学部、同大学院文学研究科（宗教学専攻）修了後、米子工業高専講師などを経て2000年より現職。ヴァージニア大学実践倫理研究所フェロー（2006 - 2007年）。2002年、論文「人間の生における「尊厳」概念の再考」にて日本医学哲学・倫理学会奨励賞。

(裏面に著書)

著書：編著に『「いのちの思想」を掘り起こす 生命倫理の再生に向けて』（岩波書店）、共著に『生命の産業 バイオテクノロジーの経済倫理学』（ナカニシヤ出版）、『死生学〔1〕死生学とはなにか』（東京大学出版会）、訳書に『死と来世の系譜』（時事通信社）など。

2011年度 これからのプログラムのご案内

修学院フォーラム

人と教育

第3回 11月12日(土) 「知の塵芥のなかで、自分をつくる」
講師：野田 正彰(関西学院大学教授)

福祉とこころ

第1回 11月26日(土) 会場：日本基督教団洛南教会
「子どものこころを見つめて ～洛西愛育園の取り組みから～」
講師：高木 恵子(洛西愛育園園長)

第2回 2012年2月18日(土) 「聖書に尋ねる福祉の思想」(仮)
講師：岡山 孝太郎(日本キリスト教社会福祉学会副会長)



その他のプログラム

認知症に関するプログラム 2012年1月28日(土) 会場：日本基督教団世光教会

〈ご宿泊のご案内〉

談話会終了後、関西セミナーハウスに宿泊される方は、特別料金で、ご宿泊いただけます。

1名様 4,850円 (朝食付き) (参加者相部屋、シングル料金別途)

* セミナー申込の際、お申し出下さい。

* 定員がありますので、当方からの返信をもって、ご予約とさせていただきます。(満室の節はご容赦ください。)

(財)日本クリスチャンアカデミー 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2115

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

運営委員長 小久保 正

プログラム係 都木かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2011年度 修学院フォーラム「いのちを考える」第4回 参加申込書

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 () - ()	FAX () - 携帯 ()
電子メール:	@
A、Bそれぞれ、いずれかに をお付けください。A.メインプログラムに(1.参加する。 2.参加しない。)	
B.「講師を囲む談話会」に(1.参加する。 2.参加しない。)	
・終了後「関西セミナーハウス」に宿泊を希望する。()名 1.相部屋でよい。2.シングル使用希望。	